

イオンは、株主の皆さまとともに地域の豊かさを実現することを目指して、事業活動を通じた取り組みに加えて両財団の活動を推進しています。



<https://aeon1p.or.jp/1p/>

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

「イオンワンパーセントクラブ」とは？

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念を具体的な行動に移し、企業の社会的責任を果たすことを目的として1990年に設立しました。以来、30年以上にわたって、イオングループ主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」の3つを柱とする事業活動を行っています。



設立以来、30年以上にわたって多くの皆さまのご協力のもと、小売業の特性を生かした数多くの社会貢献活動に取り組んできました。

イオン1% (ワンパーセント) クラブ30年のあゆみ

- 1989 「イオングループ1%クラブ」発足を宣言
- 1990 「イオングループ1%クラブ」設立
 - 「小さな大使」第1回開催 (現:ティーンエイジアンバサダー)
- 1996 環境庁 (現:環境省) 「子どもエコクラブ」活動支援スタート (現:イオン チアーズクラブ)
- 2000 学校建設支援事業をカンボジアでスタート
- 2006 地球 「イオン スカラシップ」スタート
- 2007 心 「地域行事支援スタート」
- 2008 心 「イオン すくすくラボ」スタート
- 2009 地球 「ティーンエイジアンバサダー同窓会」を実施
 - 「アジア大学生 環境フォーラム in ベトナム」第1回開催 (現:アジア ユースリーダーズ)
 - 「日本 中国 ティーンエイジアンバサダー」をスタート
- 2010 心 「イオン ユニセフ セーフウォーター キャンペーン」スタート
- 2011 心 「イオン 東北支援スタート」
- 2012 心 「イオン eco-1グランプリ」第1回開催
 - 「イオン ふるさと発見伝」スタート
- 2015 公益財団法人へ移行
- 2016 心 未来農業Days サポートをスタート
 - 「福島キッズ森もりプロジェクト」スタート
- 2017 地球 「アジア ユースリーダーズ」第1回「食と健康」をテーマに日本で開催
- 2018 地球 「日本 中国ティーンエイジアンバサダー」10周年記念事業を実施
- 2019 地球 30周年記念事業を実施
- 2020 心 「首里城復興支援プロジェクト」スタート
 - 「イオン こども食堂応援団」を支援

活動の一例をご紹介します。

次代を担う青少年の健全な育成

Education

環境や社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地球の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々に対して、各国政府やNPOと連携しながら学校建設などを支援しています。

イオン チアーズクラブ

現在参加しているメンバー **5,206人**

小学1年生から中学3年生までの子どもたちが、集団行動を通じて社会のルールやマナーを学びながら、環境や農業などへの興味・関心や考える力を育む場として全国420カ所を拠点に、体験活動を行っています。



WAON POINTによる寄付の受付を開始しました

寄付を通じて「イオン チアーズクラブ」で活動する子どもたちへの支援にご参画いただけます。寄付は1,000ポイント (1,000円分) 以上、500ポイント (500円分) 単位でご応募いただけます。

こちらのウェブサイトからご応募いただけます



イオンウォレットアプリでもご応募を受け付けています。

諸外国との友好親善

Interchange

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、日本への留学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。

アジア ユースリーダーズ

これまでの交流人数 **9カ国1,066人**

アジア9カ国の異なる価値観を持つ高校生が英語を共通言語として、チームで議論を重ね解決策を提案するプログラムです。自分とは違う考え方や意見に対する理解を深め、時代を担う若きリーダーの育成を目的としています。



イオンスカラシップ

これまでの受給人数 **7カ国38大学 7,818人**

アジア各国の大学生および日本で学ぶアジアの留学生を対象とした給付型奨学金制度です。年間を通じた経済支援のほか、日本で学ぶ奨学生を対象に、さまざまな研修カリキュラムやボランティア活動などの機会を提供し、グローバル人材への成長を目指す学生たちをサポートしています。



地域社会の持続的発展

Development

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興、そしてこれらを支える人材育成などを支援します。

災害復興支援

ウクライナの子どもたちを救うため、1億円の寄付を実施

イオングループが戦争に反対する意思表示とともに「イオン ウクライナ子ども救援募金」の実施に先立ち、1億円を拠出し、ユニセフを通じて水、防寒用品、学用品、玩具などに充てていただきました。

寄付金 **1億円**



イオン 首里城復興支援プロジェクト

首里城 (那覇市) の甚大な被害に対し、イオン株式会社が「首里城復興プロジェクト」に賛同し、当財団では、向こう5年間に5億円の寄付を予定しています。2021年は第2回として沖縄県へ1億円を贈呈しました。

寄付金 (予定) **5年間で5億円**



公益財団法人イオン環境財団



<https://www.aeon.info/ef/>

「イオン環境財団」とは？

イオン環境財団は、1990年に、日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立されました。設立以来、ひとつしかない地球を次世代へ引き継ぐため、多様なステークホルダーの皆さまと連携し、様々な環境活動を継続しています。代表的な事業が「植樹活動」で、これまで世界各地で地域ボランティアの皆さまとともに、伐採跡地や自然災害などで荒廃した森に植樹し、みどりの再生を実施してきました。また、環境活動に積極的に取り組んでいる非営利団体への「助成」や、環境人材の育成を目指した「環境教育」なども継続実施しています。今後は、持続可能な地域の実現を目的に、地域の皆さまと協働して、地域づくり、人づくりにも取り組み、新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

イオンの森づくり



国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的として、世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を実施してまいりました。これまで、世界11カ国で植樹を行い、累計植樹本数は1,241万本となっています。(2022年2月現在)。



植樹は株主さまにもボランティアとしてご参加いただくことができる活動ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大人数での活動を休止せざるを得なくなりました。そこで植樹地に向かず森づくりに参画いただける活動として、ボランティアの皆さまに苗木を預けし、1年間自宅や学校等で育てていただく「苗木の里親プロジェクト」を実施しました。

地域の皆さまのご参加が可能になりましたら、当財団のホームページやSNSなどでご案内いたします。

※株主の皆さまの「スマート行使」による議決権行使が、同財団への活動支援につながります。是非とも議決権をご行使いただきますようお願いいたします。